

【概要・一般目標：G10】
スポーツ指導者として現場で必要な救急法の実践能力を習得することはもとより、救急法を学ぶことにより指導者として高い安全知識と事故防止に対する能力を身につける。

1. 傷病者に対する適切な観察力と判断力を身につける。
2. 傷病者（意識障害、呼吸停止、心停止、大出血、服毒、熱傷）に対しての正しい応急手当ができる。
3. 救急処置（心肺蘇生法、AED、RICE、緊急時の対応）を理解し実践できる。
4. 事故、災害に対する安全知識を身につける。

【 使用図書 】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	救急法講習教本 公認アスレティックトレーナー	日本赤十字社	日赤会館	2001・1,000円
	専門テキスト第8巻 救急処置	日本赤十字社	日本体育協会	2007・3,100円
参考書	スポーツ現場における 救急処置のポイント	浅井宏祐	文光堂	1998・7,350円
その他の資料		東京消防庁	東京法令	2004・3,990円

【 評価方法 】 出席 実技テスト 期末試験	【 履修上の留意点 】
-------------------------------------	-------------